

国土交通省と同時発表
報道機関各位

令和6年9月3日
北九州市上下水道局

令和6年度 国土交通大臣賞(循環のみち下水道賞)を受賞！ ～「日明じゅんかんファーム」で新たな学びの場を創出～

■ 令和6年度(第17回)国土交通大臣賞(循環のみち下水道賞)において、当局の取組みが「広報・教育部門賞」を受賞しました。

1 受賞の概要 別紙のとおり

(1)受賞名 令和6年度(第17回)国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」広報・教育部門

(2)件名 「日明じゅんかんファーム」で新たな学びの場を創出

～「施設見学」×「収穫体験」で、じゅんかん育ちを学ぶ～

(3)概要

- 北九州市上下水道局では、SDGsの推進に向け、下水道資源の肥料化を目指しており、その取り組みの一つとして、日明浄化センター内に畑(名称:日明じゅんかんファーム)を整備し、「さつまいも」等の作物の栽培に取り組んでいる。
- 市内の調理科を有する高校生を対象に、従来の「施設見学」に加え、下水処理水や汚泥由来肥料を活用して栽培した『じゅんかん育ちのさつまいも』の「収穫体験」を通じた循環社会学習を展開することで、新たな学びの場を創出。
- 下水道の仕組み・役割や循環型社会の推進について学んだ高校生が、収穫した「さつまいも」を文化祭にて調理・販売することで、高校全体でSDGsの理解促進に繋がった。



<日明浄化センター「施設見学」の様子>



<さつまいも「収穫体験」の様子>



<循環社会学習の様子>

2 表彰式 表彰式の写真は提供可能です。ご希望の場合は、ご連絡ください。

(1)日時 令和6年9月10日(火)13時15分～14時

(2)場所 国土交通省(中央合同庁舎3号館)10階 共用会議室

(3)詳細につきましては、国土交通省ホームページ

(https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000588.html)をご覧ください。

「国土交通大臣賞(循環のみち下水道賞)」とは？

健全な水循環、資源・エネルギー循環を生み出す21世紀の下水道のコンセプト「循環のみち下水道」に基づく優れた取組に対し、平成20年度に創設された国土交通大臣賞。

社会経済情勢の変化に対応し、多様な面から社会に貢献した優れた事例を表彰し広く発信することで、他の多くの団体等でも同じ取組が行われ、全国的に「循環のみち下水道」が実現することを目指しています。

【問い合わせ先】

上下水道局下水道計画課 (担当:西田(課長)、松田(係長))

電話:093-582-2480

上下水道局のキャラクター
「スイッピー」



令和6年度（第17回）国土交通大臣賞〈循環のみち下水道賞〉

広報・教育部門

「日明じゅんかんファーム」で新たな学びの場を創出 ～「施設見学」×「収穫体験」で、じゅんかん育ちを学ぶ～

北九州市上下水道局

受賞事例の概要

- 基幹処理場内に「日明じゅんかんファーム」(約50㎡)を整備し、作物の栽培に取り組みました。
- 従来の施設見学に加え、下水処理水や汚泥由来肥料を活用した「じゅんかん育ちのさつまいも」の収穫体験を通じて、下水道の仕組み・役割、「循環型社会の推進」について、学びの場を創出しました。

従来の施設見学



+α



収穫したさつまいもは・・・



PRポイント!

処理場での畑の整備・下水汚泥資源を活用した作物栽培・収穫体験を含む「循環社会学習」により、下水汚泥資源の理解促進に努めました。また、収穫体験を行った高校の文化祭にて学生が調理・販売することで、消費者に対して安全性を効果的にPRできました。

本取組は、処理場の遊休地を活用することにより、他の自治体においても同様に実施することが可能です。

取組の効果!

従来の施設見学で「じゅんかん」を学ぶとともに、+αした体験を通じ「じゅんかん育ち」に触れて身近に感じてもらったことで、学生が文化祭で自主的にPRを行うなど、高校全体で理解促進に繋がったと感じています。さらに、本取組をイベントにて幅広くPRすることにより、下水汚泥資源のイメージ改善に貢献できたと考えています。

Key Person



上下水道局 下水道計画課
前田 洋希

下水汚泥資源の肥料利用の拡大に向けては、利用者である農業従事者や消費者のイメージ改善・理解促進は欠かせません。

今回、調理科を有する市内の高校生を対象に、「じゅんかん育ちのさつまいも」の収穫を通じた循環社会学習を展開しました。将来的には今回の体験を契機に「じゅんかん育ちの食材」に興味・関心を持ってもらうことで、下水汚泥資源の肥料利用の拡大に繋がれることを期待しています。

今後も継続的にPR活動を展開し、下水道全体のイメージUPに貢献していきます。